

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会



「安全はすべてに優先する」どんなときも頭は守ってね。チエブクローより

令和6年度の重篤事故は、36件となりました。(前年度と同数)
令和5年度36件、令和4年度29件

令和7年3月（令和6年度）事故速報

(1) 重 篤 事 故

3月は、3件の重篤事故の報告がありました。3件とも就業途上の事故でした。

3月までの累計でみると、令和5年度の36件と比して令和6年度も同数となっています。また、就業中・就業途上別にみると、就業中の事故が3件の減少となり、就業途上は3件の増加となりました。

累計36件の内訳は、就業中は、剪定等10件、草刈3件、清掃4件、その他5件、就業途上は、徒歩2件、自転車8件、バイク3件、自動車1件です。

3月報告分までの累計

令和6年度累計	就業中・就業途上	件数	内 訳				令和5年度同月累計					
			事故の程度		性別			計	事故の程度		性別	
			死亡	入院	男性	女性			死亡	入院	男性	女性
	就業中	22(0)	15(0)	7(0)	20(0)	2(0)	就業中	25	17	8	24	1
	就業途上	14(3)	11(2)	3(1)	11(3)	3(0)	就業途上	11	6	5	5	6
	計	36(3)	26(2)	10(1)	31(3)	5(0)	計	36	23	13	29	7

()は、当月報告分

3月報告分内容

No.	性別等	区分等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
34	男 76歳	途上 (入院)	就業先へ自転車で向かう途中、横断歩道を渡ろうとした時、自動車に追突された。診断は、急性硬膜下血種、頭蓋骨骨折、高エネルギー外傷、気脳症、右鎖骨骨折、左手指骨折となった。	—	—	自転車
35	男 89歳	途上 (死亡)	バイクで就業先へ向かう途中で車と接触し死亡した。	—	—	バイク

3月報告分内容

No.	性別等	区分等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
36	男 73歳	途上 (死亡)	2車線の国道(一方通行)に並行している歩道上(自転車通行可)を自転車で直進中に、横の倉庫から出てきた大型トレーラーの助手席側に接触し、転倒。そのままトラックの下(タイヤ)巻き込まれた。本人即死のため、詳細事故状況は不明だが、トラックの運転手は歩道上を横断する際に自転車側を目視確認していなかったとのこと。	—	—	自転車

令和6年度を振り返って

令和6年度の重篤事故は、昨年度と同数の36件で過去4番目に少なかったが、前年度より減少させることができず残念な結果となりました。内容は、就業中が22件で令和5年度の25件に比べて3件減少し、就業途上は、14件で5年度より3件増加となりました。

また、死亡者数は、就業中15件、就業途上11件の計26件で、5年度より3件の増加となり、重篤事故の7割以上が死亡事故、特に就業途上の死亡事故は5年度の5割強から8割近くに増加しました。

就業中の事故については若干の効果が表れてきたものと思われましたが、就業途上の事故が増加し、交通安全に対する意識の向上について課題が残った結果となりました。

事故の要因としては、保護帽(ヘルメット)及び墜落制止用器具(安全帯)の不装着が相変わらず多く、装着していれば死亡には至らなかったのではないかとと思われるケースが散見されました。

また、事故の様態としては、剪定、伐採作業を中心に墜落、転落事故が多く、就業中の事故の半数近くを占めています。就業途上の事故では、特に自転車の事故(自転車を押しながらの事故を含む)が8割近くを占めており、交通事故によるものが多く、必ずしも本人の過失責任があると言えない事故も多いですが、交通ルールを守り、会員の安全意識の向上にいつそう努める必要があります。

さらに、就業中の事故で、草刈作業中や清掃作業中に熱中症での死亡事故が3件起きています(令和5年度は0件)。こまめな水分、塩分補給、こまめな休憩、比較的涼しい午前中の作業や、複数で就業を行うなど対策を徹底し、熱中症特別警戒アラートを活用し、安全が確保できない場合は、お断りするようにしてください。

令和7年度を迎えて 全シ協より

令和6年度の重篤事故を教訓に、全国の会員さん、センターの役職員さん、連合の役職員さん一人一人が重く受け止め、令和7年度は、1件も事故を起こさないようにするため、以下の基本を周知徹底いただきますようお願いいたします。

- ① 保護帽(ヘルメット) あご紐はしっかり装着、脚立・足場板を使用する場合は安定した場所の確保、墜落制止用器具(安全帯)の装着は当たり前です。(装着しない場合は、就業させない対応を)
- ② 会員さんの高齢化が進んでいる中、剪定作業は、リスクが大きい就業になってきています。センターが今まで以上に仕事を精査、吟味し(アスファルトの道路、コンクリート、大きい石などがある環境での地上作業への対策、場合によっては断るなど)、会員さんに提供することをお願いいたします。

③ シルバー人材センターは、危険又は有害な作業を内容とする仕事、例えばクレーン、フォークリフト、プレス機械等の重量機器の操作、高所作業、皮膚疾患等の発生リスクを伴う有害物質の取扱作業など、高齢者にふさわしくないと判断される作業又は重大な災害に結びつくおそれのある作業は、高齢者の能力、体力に見合った仕事を提供するというシルバー事業の趣旨に反するものであるので、受注することのないように留意してください。(平成3年11月1日付高雇発第40号通達)【シルバー人材センター安全就業の手引(第六改訂) P104～106】

④ 伐木作業でのチェーンソーの使用は、大きな事故につながるおそれのある就業です。受注するのであれば以下の事項を遵守してください。

- ① 樹高、樹径周辺の環境など現場を確認した上で受注
- ② 就業する会員全員が特別教育を受講
- ③ 契約書で作業内容を明確にし、契約以外の就業を禁止
- ④ 複数人での作業(事故の重大化を防ぐため)
- ⑤ 作業手順及び注意事項の作成
- ⑥ 保護帽、下肢の切創防止用保護衣、防振手袋の着用
- ⑦ 半径2m以内には、誰も入らない、また、何もないように整理・整頓
- ⑧ 脚立や足場板を使用しての樹上での作業禁止など

以上の安全が確保できない場合には、請け負うことはお控えください。

⑤ 損害賠償責任保険事故は、若干減少したものの抜本的な改善には程遠く、保険財政が破綻寸前のままとなっていることから、特に草刈作業における飛散防止対策の徹底を図ってください。

⑥ 就業途上における交通事故の防止

徒歩、自転車及びバイクでの事故の防止の徹底

特に、自転車における交通ルール(自転車安全利用五則)の遵守

- ① 車道が原則、左側を通行 ② 交差点では信号と一時停止を守って安全確認 ③ 夜間はライトを点灯 ④ 飲酒運転は禁止 ⑤ ヘルメットを着用

⑦ 熱中症対策

今年も猛暑が予想されます。① こまめな水分・塩分補給 ② 日陰を利用し直射日光を防ぐ(こまめな休憩) ③ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで体を冷やす ④ 睡眠とバランスの良い食事 ⑤ 熱中症特別警戒アラートの活用 ⑥ 発注者にご理解いただき比較的涼しい時間帯での作業 ⑦ 熱中症に限らず、会員さんが災害等に遭った場合に直ぐに発見されにくい就業場所においては、一人作業にならないようにする(屋内。屋外問わず)。 ⑧ 作業及び休憩は全員で一緒に行うなど、他の会員さんが不在の中で一人だけで作業する状態を作らない。 ⑨ 熱中症の症状を見つけた場合は、体を冷やし放置せず医療機関への迅速な搬送 ⑩ 報告するための連絡先や担当者をあらかじめ定める。

以上の安全が確保できない場合には、請け負うことはお控えください。

【参考】厚生労働省 HP 熱中症を防ぐために知っておきたいこと～熱中症予防のための情報・資料サイト
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/pamph.html



【参考】厚生労働省は、働く人を熱中症から守るために熱中症のおそれがある人を早くに見つけて適切な対策を取るよう、6月から企業に対して罰則付きで義務付ける方針です。シルバー人材センターは、センターと会員、会員と発注者（お客様）との間に雇用関係はありません。そのため、労働安全衛生規則は適用されませんが、請負・委任であっても就業する（働く）会員さんへの熱中症対策は必須ですので、今回の規則改正について十分確認し、これに準じた対策を行うことが望ましいと考えます。（厚生労働省 HP を参考にしてください。）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/anzen/anzeneisei02.html



厚生労働省 HP



草刈り就業の会員の皆さん
動画を必ずみてくださいね



全シ協 HP
動画「安全な草刈り作業のために」

★「安全な草刈り作業のために」の動画が全国シルバー人材センター事業協会のホームページからご覧になれます★

損害賠償事故が、令和4年度において3,753件、令和5年度も3,682件発生し、支払保険金額は、**約5億7百万円**に上っています。令和6年度は、若干の減少が予想されますが、抜本的な改善には程遠く、保険財政が破綻寸前のままとなっています。特に草刈り作業時に飛散させたものの損壊は、2,106件（**支払保険金約3億2千万円**）で、3年連続で約2,000件発生（過去最高）しています。一人一人が気をつける意識を持つことにより、草刈り作業での飛び石事故は撲滅できます。全国シルバー人材センター事業協会ホームページに掲載している動画は、会員さんが就業前など、より身近に目にしていただけるようスマホからもご覧いただけるようになっております。より一層の安全就業に努めてください。

動画のプログラム

- 草刈り作業について
- 使用道具について
- 刈払機について
- 事故事例の紹介
- 安全対策の紹介
- 事故対策事例 約15分

- ① **安全ルール厳守** 「自分は大丈夫」は過信です。
 - ② **現場の事前確認必須** 「危険箇所」を事前確認しましょう。
 - ③ **大振り厳禁** 大振りは「事故発生率」が上がり危険です。
 - ④ **飛び石は防止できる** 「安全対策ツール」（防護ネット・上下刃逆回転ハサミ草刈り刃）などを有効活用しましょう。
- ※ DVDの貸出も行っております。

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

3月は、就業中の事故 18 件、就業途上の事故 9 件と、合計 27 件であり、昨年度同月 30 件と比して3件の減少となっています。また、男女別では、男性は 15 件で6件の減少、女性は 12 件で3件の増加となっています。

3月までの累計で比較してみると、昨年度の 293 件と比して、本年度は 272 件と 21 件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は 194 件で27件の減少となっており、就業途上は 78 件で6件の増加となっています。男女別では、男性は 7 件の減少となっており、女性は 14 件の減少となっています。

令和6年度3月分

	仕事の内容		事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
			3月	累計	3月	累計	3月	累計	3月	累計
就 業 中	植木・樹木の剪定等		3(8)	69(87)	3(7)	67(85)	0(1)	2(2)	74	77
	除草作業		0(3)	34(34)	0(3)	31(31)	0(0)	3(3)	—	78
	屋内・屋外清掃作業		9(6)	46(43)	3(2)	18(15)	6(4)	28(28)	73	75
	その他		6(4)	45(57)	5(3)	40(43)	1(1)	5(14)	75	76
	計		18(21)	194(221)	11(15)	156(174)	7(6)	38(47)	74	76
就 業 途 上	交 通 手 段	徒歩	2(3)	24(22)	1(3)	13(12)	1(0)	11(10)	84	79
		自転車	5(5)	43(40)	2(3)	27(21)	3(2)	16(19)	77	79
		バイク	1(0)	9(6)	0(0)	5(1)	1(0)	4(5)	78	77
		自動車	1(1)	2(4)	1(0)	2(2)	0(1)	0(2)	83	83
		計	9(9)	78(72)	4(6)	47(36)	5(3)	31(36)	80	79
合 計			27(30)	272(293)	15(21)	203(210)	12(9)	69(83)	76	77

() は令和5年度同月の発生件数

※「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月 8 日までに必ず提出願います（平成 30 年 4 月 24 日付 事務局長通達により通知済）。（※安全就業の手引（第六改訂）P 1 0 9～P 1 2 9 掲載）※シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないようお願いします。

東京都の条例により、令和2年から自転車利用中の事故により、他人に怪我をさせてしまった場合などの損害を賠償できる保険等への加入が義務化されています。

令和7年4月（通算第148号）

発行：
公益財団法人東京しごと財団
（東京都シルバー人材センター連合）

自転車損害賠償保険等への加入は“ルール”です 年に一度は加入状況を確認しましょう

自転車事故による高額賠償事例

自転車は仕事の行き帰りや買い物など、日常生活に欠かせない便利な乗り物ですが、軽車両であり、加害者となった場合、高額な賠償金が発生する可能性があります。交通ルールを守り、安全運転することはもちろん、年に一度はご自身やご家族の保険の加入状況を確認するようにしましょう。

＜自転車事故による高額賠償事例＞

約9,521万円	自転車(小学生11歳)と歩行者(62歳)との正面衝突により歩行者が後遺障害を負った事故
約9,266万円	自転車(高校生)と自転車(会社員24歳)との衝突により会社員が後遺障害を負った事故
約6,779万円	自転車と横断歩道を横断中の歩行者(38歳)との衝突により歩行者が脳挫傷により3日後に死亡した事故



シルバー会員なら団体割引30%適用！ お得な「サイクル安心保険」のご紹介

東京都のシルバー人材センターの会員向けであれば、全日本交通安全協会が推奨する「サイクル安心保険」に団体割引価格で加入することができます（全日本交通安全協会・自転車会員への入会が必要です）。

全プラン示談交渉サービス付きで、ご自身のケガに備えた傷害補償付きのコースもあります。新規会員の方や、まだ保険に加入していないという方は、この機にご検討ください！

WEBからの加入がお得・便利!!

- 便利なクレジットカード払いができます!
- 掛金がお得です!
- 申込み手続き後、すぐ加入者票がダウンロードできます! 【重要】郵送による加入者票のお届けはできません。

モバイルから加入の場合はこちら



右記の2次元コードからアクセスしてください。
24時間、土日祝日いつでも加入できます!



詳しくは 一般財団法人全日本交通安全協会

検索

をクリック!

〈URL〉 <https://www.jtsa.or.jp/>

※詳細は各センターに配布したパンフレットをご覧ください。